

## カステロ・ブランコ (Castelo Branco) 観光

について



### カステロ・ブランコ (Castelo Branco) 観光

大きすぎず、小さすぎず、人間にとって適度な規模のカステロ・ブランコ (Castelo Branco) は、訪れるだけの価値がある街です。ここでは、おすすめのスポットをいくつかご紹介します。でも、観光客があまり行かない路地裏を自分のペースで歩き回った方が、新しい発見があるものです。

カステロ・ブランコの観光は、サン・ミゲル教会(Igreja de São Miguel) と呼ばれるカテドラル (Catedral) を起点に、フランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館 (Museu Francisco Tavares Proença Junior) に向かうのが定番のコースです。博物館では、カステロ・ブランコのリネンキルトを鑑賞できます。多様な色彩の絹糸で手による刺繍が施され、この地域の職人技術の高さがうかがえる作品ばかりです。

この博物館には 元司教の邸宅 (Paço Episcopal) があります。その庭園 (Jardins) は街の誇りです。噴水、池、滝を組み合わせたバロック様式の庭園で、階段を飾るポルトガル歴代国王の像がよく知られています。じっくり見ると、3体の像が他より小さいことに気づくはず。これらは1580年から1640年にかけてポルトガルを支配したスペイン王なのです。皮肉をこめて、独立を強調しているわけです！

通りを隔てたところにある邸宅の元家庭菜園は、現在はパルケ・ダ・シダーデ (Parque da Cidade) という公園になっています。噴水や人工池のほかに、かつての役割を思い出させる菜園やハーブ園が残る憩いの空間です。近隣のグラサ修道院 (Convento da Graça) には宗教美術館、ムセウ・デ・アルテ・サクラ (Museu de Arte Sacra) があり、これも必見です。

旧市街の中心は、カモンイス広場 (Praça de Camões) またはヴェーリャ広場 (Praça Velha、旧広場の意) です。一部の建物のファサードには石の彫刻がみられます。市庁舎 (Paços do Concelho) のアーミラリ天球儀や、旧オーデム・デ・クリストのキリストの十字架がその例です。さらに中世の名残を感じさせるのは、ノヴァ通り (Rua Nova)、ドス・ペレテイロス通り (Rua dos Peleteiros、毛皮業者の通りの意) などの周辺路地に並ぶ家屋です。この通りは、市内で一番見晴らしの良い城がそびえる丘へと続いています。

市内に誕生した最新のアトラクションも見逃せません。例えば、シビックセンター (Centro Cívico) の現代的な建築、画家カルガレイロの膨大なコレクションを所蔵するカルガレイロ美術館 (Museu Cargaleiro) 。パルケ・ダ・シダーデ内の湖でボートに乗ったり、ビーチプールで泳いでも楽しいひとときを過ごせるでしょう。

### 絶対のお勧め

- > 司教邸宅の庭園を散策
- > カステロ・ブランコ・キルトを鑑賞
- > 城に登り、眼下に広がる眺めを楽しむ

---

## 周辺情報

近郊で足を伸ばす価値のある場所としては、さまざまな動植物の種が保護・保存されているナチュルテジョ・ジオパーク (Geoparque Naturtejo) が挙げられます。ここには、農業や農村環境との結びつきを感じさせる古くからの生活様式が今なお残っています。はちみつやソーセージ、郷土の名前を掲げる強烈なおいのカステロ・ブランコ・チーズなど、地元の生産物を味わうチャンスもあります。

---

## 行き方

- スペイン国境の町セゲーラ (Segura) から約50 km
- 車 - A23 (グアルダ トーレス・ノヴァス Guarda-Torres Novas)、トーレス・ノヴァス(Torres Novas) でA1と接続
- 鉄道:ベイラバイシャ線 (Linha da Beira Baixa) [www.cp.pt](http://www.cp.pt)
- バス:レーデ・エスプレッソス (Rede Expressos) <http://www.rede-expressos.pt>